

産大 産業と社会を支える人材の育成

大阪産大

開学50周年を記念して

大阪産業大学（金澤成保学長）は、十一月二日、大阪市内のホテルニューオータニ大阪において大学開学五〇周年記念式典及び祝賀会を開催、招待客や卒業生、学園関係者ら約七〇〇人が出席した。

式辞では、金澤学長が「学生のニーズに対応した学部学科の再編、カリキュラムの抜本的改正などの改革を進め、産業と社会を支える人材の育成を重点に、社会に役立ち、必要とされる大学と

して歩み続けていきたい」と、これからの展望について決意を誓った。

土肥孝治理事長は、「学生の活躍を後押しすべく、我々教職員は支援する力を緩めることなく、これからも学生に愛される大学を築いていきたい」と語った。

続いて、日本私立大学協会常務理事・事務局長の小出秀文氏、衆議院議員の北川知克氏、同じく衆議院議員の宗清皇一

氏、大東市長の東坂浩一氏の来賓代表らから、心温まる祝辞が披露された。式典終了後は祝賀会が催され、オープニングセレモニーとして、体育会チアリーディングチームによるパフォーマンスが行われ

が行われた。歓談中には、空手道部二年生の松原美咲さん、テコンドー三年生の江畑秀範さんによる演武、吹奏楽部の演奏が披露されるなど、五〇周年の節目を盛大に祝した。



た。金澤学長の挨拶後、東大阪市長代理の川口誠太副市長、中河昭大東市議会議長からお祝いのお言葉が述べられ、小泉廣美校友会長による乾杯